

## 本時のねらい

行基の大仏づくりの偉業とそれを支えた人々について自分の言葉で説明できるようになる。

## 本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

「Kafoot!」の活用により、学習意欲を高めると同時に前時とのつながりや本時の中心発問へと児童の思考がつながっていくことをねらいとした。また、資料を写真で撮影して発表に使うことで、資料の精選、補足などをしやすくした。プレゼンテーション能力を身に付けさせることもねらいとしている。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・タブレットカメラ
- ・Kafoot!
- ・拡大用テレビ
- ・NHK for school

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の復習と本時に必要な用語をクイズ形式で確認する。</li> <li>・前の時間のキーワード</li> <li>・本時のキーワードにつながる用語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Kafoot!」を活用して行う。全員がクイズに参加することにより、意欲が高まった状態で本時のめあてへとつなげることができる。</li> <li>・クイズの問題ごとに解説を行い、用語の確認を行う。また、必要な場合は教科書から答えを探してもよい、と助言することで自然と教科書に立ち戻って前時の授業の内容を確認することにつながっている。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての確認 「行基の偉業と大仏づくりを支えた人々について説明できるようになる」</li> <li>○発表のキーワードを3つ伝える。 ・行基 ・およそ 1/2 ・狭山池</li> <li>○動画を視聴し、大仏づくりの様子を知る。 ・行基の行った偉業を知る。 ・大仏づくりの様子を知る。</li> <li>○発表の準備をする。 ・タブレット端末で資料集の中から説明に使うものを撮る。 ・撮った資料にメモを書き加える。</li> <li>○キーワードを使って3人以上に説明を行う。 ・ペアで今日の学習の内容を説明する。 ・不足している点や伝わりづかった点を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK for school を視聴しながらメモを取り、話の準備をするよう言葉をかける。大仏の作り方を視覚的に把握することができるので、当時の人々の苦労や行基の偉業を理解しやすくなる。</li> <li>・資料集の中から選んで撮るため、伝えたい資料を選択する力につながる。</li> <li>・画像にメモを加えることができるので、説明の順序や特に強調したい部分を整理することができる。</li> <li>・いくつか撮った画像をスライドして見せながら説明することで、プレゼンテーションの力を付けることができる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で撮った画像は次の時間にも使うことができる。こうして学習した内容を積み重ねていくことで、前時までの流れにつなげて授業を考えることができる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：Kafoot!でクイズをしながら用語を確認している場面



写真2：資料集の写真の撮り、その写真に書き込みながら説明する内容を考えている場面



写真3：タブレット端末を使いながらキーワードを使って本時の学習の説明をしている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・Kafoot!でのクイズは意欲がとても高まる。学習が苦手な児童も含め、全員が参加して授業を始められていた。
- ・撮影した資料を保存しているので、前時に使った資料と比較しながら説明する児童もみられ、前時とのつながりを意識しやすくなっていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・児童が学習した内容を1対1で説明し合う活動において、タブレット端末を使用することは、前時や以前の学習との比較がしやすく効果的であった。
- ・教育用アプリ「Kafoot!」を導入で活用することで、どの子も授業に参加する空気をつくることができる。